

人に優しく、新しい医療提供の姿を追い求めて。

大学院医学系研究科
生命環境医科学専攻
脳神経外科学 教授

かやまたかまさ
嘉山 孝正

山形大学医学部

全ては患者さんのために

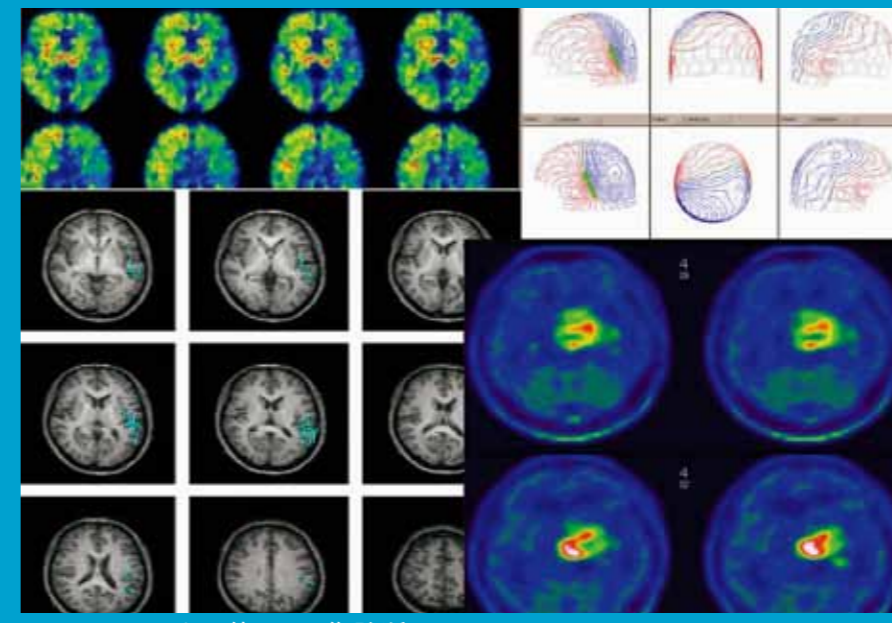
世界最先端の機器を駆使した診断治療で脳を守る
脳は人の人たる所以である源であり、病気を治すことだけでなく、脳を守ることが何より大切です。その最たるものが、覚醒下手術です。これは、手術中に麻酔を一時覚まして脳機能を調べ、脳を守りながら病変を摘出するもので、本邦で先駆けて行ってきました。さらに日本では数少ない高磁場術中 MRI、脳の代謝、循環をみる PET、脳の機能をみる MEG（脳磁図）といった脳神経外科手術に必要な最先端機器を全て備えた環境の下、卓越した技術で治療困難な脳腫瘍や脳動脈瘤などの治療を安全、確実にを行っています。

メスだけでは病（やまい）は治せない
手術だけが治療ではありません。治療が最も困難とされる悪性

脳腫瘍の克服を目指して、がん幹細胞をターゲットにした新たな創薬や脳卒中後の機能再生を目指した神経再生の研究を行っています。さらに、国民病の一つであり、特に東北地方で発症率が高い脳卒中撲滅を目指して、一地域では本邦最大規模の山形県脳卒中登録事業を立ち上げ、疫学研究を行っています。

明日の医療を担う医師の育成

知あるいは技の伝承は将来の医療のさらなる発展に欠かせません。現場を通じる医学教育をコンセプトに、患者さんから学ぶ姿勢を基本として、目の前の一例一例を大切に、学生、研修医が自分で考える、患者さんを診る力をつけることをモットーに教育をしています。



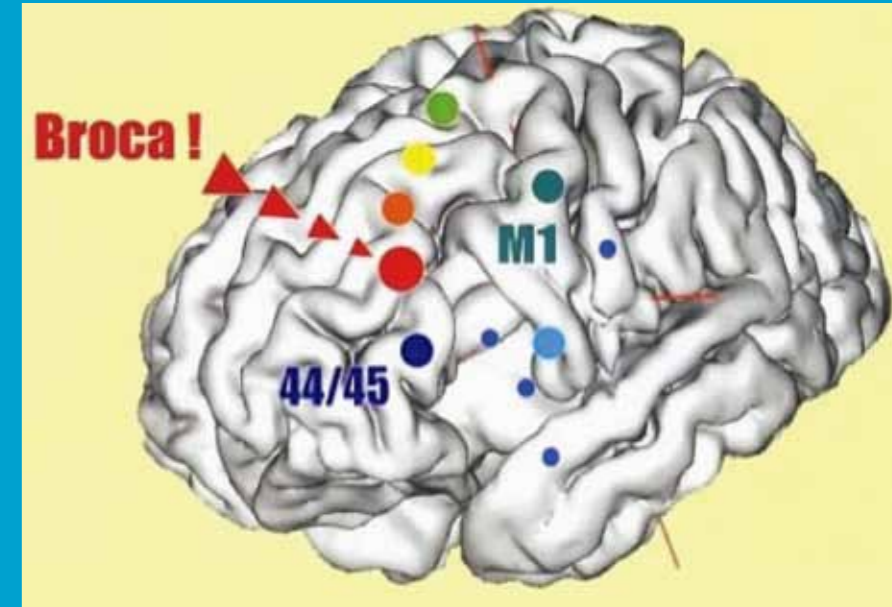
PET、MEG を駆使した画像診断



世界最先端の高磁場術中 MRI 装置



教授回診での学生への教育



脳の機能マッピング